

4. 土地利用の目標・方向性の検討

本項目は、行程計画に基づく「目標を定め重点的に取り組む項目」1～5を踏まえ、土地利用の方向性の深化を図ることを目的とする。以下に、「目標を定め重点的に取り組む項目」ごとに、今年度までの到達点及び今後必要な検討について整理した。

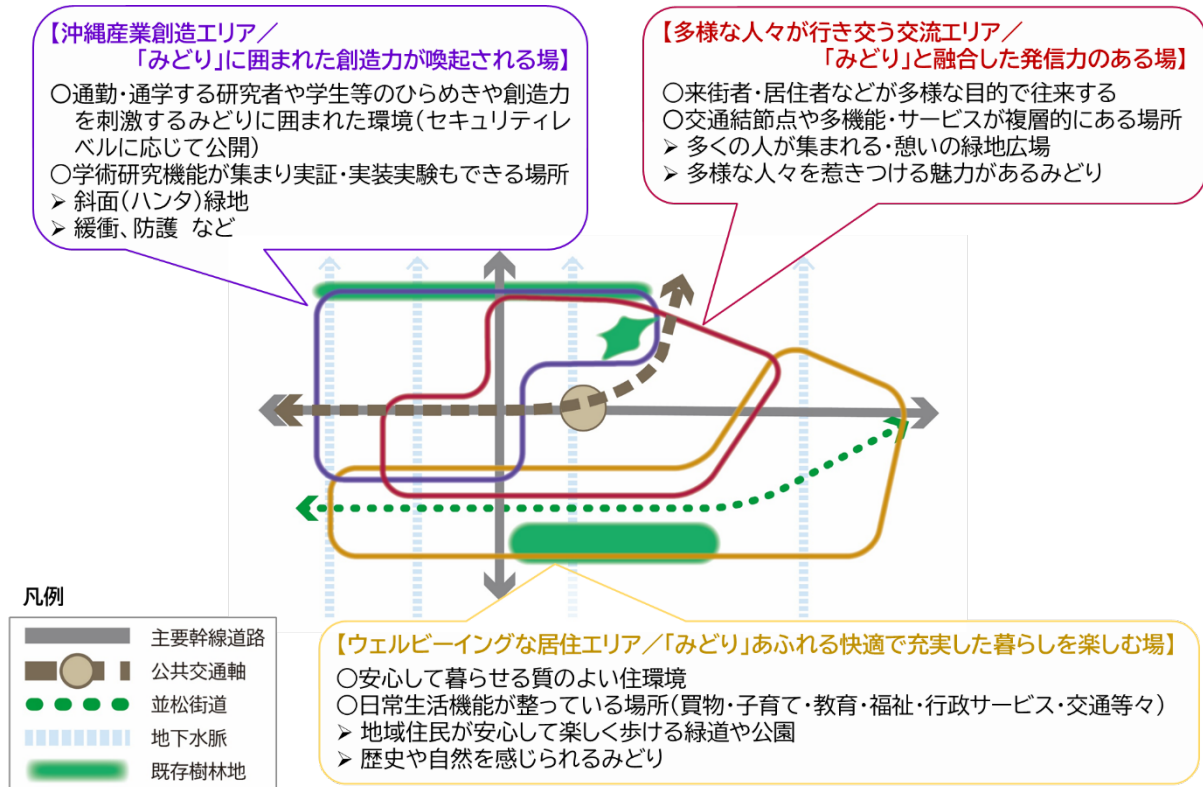
目標を定め重点的に 取り組む項目	今年度までの到達点（A）及び今後必要な検討（B）	
1. 大規模公園エリアを核とした沖縄振興拠点の創出	A	【振興拠点機能について】 ・振興拠点のあり方について整理 ・振興拠点を形成する産業候補の洗い出し 【みどり機能について】 ・「みどりを資産としたまちづくりのあり方」の整理及び指標設定 ・みどりの効果を最大限に享受するために必要な規模や形態等の整理 ・大規模公園エリアの定義及び具体イメージの整理
	B	・官民連携等によるボーダレスな緑空間の実現化方策の検討 ・国と連携した取組の検討
2. 周辺インフラや市街地との連携	A	・(宜野湾横断道路や都市交通マスタープラン等の)検討状況の把握 ・骨格となるインフラの役割の整理
	B	・中部縦貫道路に求められる役割の設定 ・中部縦貫道路の接続路線・箇所の設定 ・周辺の既存道路との接続及び地区内の道路配置計画の検討 ・公共交通のあり方検討（フィーダー交通等） ・関係機関協議による実現性の検討
3. 歴史的資源・景観資源の継承	A	・基地内植生、歴史・景観資源の把握
	B	・地域の歴史的資源等の継続方法及び歴史・景観資源の活用方法の検討
4. 水環境・地下空洞にかかる調査検討	A	・琉球石灰岩の取扱いに係る情報把握 ・地下水脈の位置の把握
	B	・情報収集の継続・検討
5. 安全・安心なまちづくりの実現	A	・基幹的広域防災拠点に必要な機能と規模、配置の考え方の整理
	B	・各種計画への基幹的広域防災拠点の形成の位置づける働きかけ ・平常時と災害時、両面からの利用の検討 ・沖縄県における実際のオペレーションを踏まえた機能・規模の精査 ・地域特性（来訪者対応等）を踏まえた機能・規模の精査
6. 土地利用の目標・方向性の検討	・振興拠点機能とみどり機能の融合の検討	

今年度は、「1. 大規模公園エリアを核とした沖縄振興拠点の創出」における振興拠点機能とみどり機能が融合したまちのイメージを整理した。具体的には、「まちの使い方」による「みどりの使われ方」のイメージを整理した。次頁以降に検討した内容を整理する。

(1) 「まちの使い方」による「みどりの使われ方」のイメージ

これまでの検討を踏まえ、「まちの使い方」を想定した「みどりの使われ方」のイメージを検討し、想定されるみどりのタイプごとに役割や活かし方について整理した。

■まちとみどりの関係性（使い方・使われ方の視点から）



■まちの中でのみどりの役割・活かし方

